

2024年7月10日（水）

愛知県環境局環境政策部自然環境課
野生生物・鳥獣グループ

担当 三輪、金子

内線 3068、3067

ダイヤル 052-954-6230

名古屋港管理組合

港営部港営課

担当 千賀、瀧上

ダイヤル 052-654-7871

名古屋港飛島ふ頭におけるヒアリの確認について

環境省中部地方環境事務所から、名古屋港飛島ふ頭で確認されたアリについて、専門家による同定の結果、要緊急対処特定外来生物ヒアリ (*Solenopsis invicta*) であることが確認されたとの連絡がありましたので、お知らせします。

当該ヒアリは、環境省が毎年実施している定期的な全国港湾調査において2024年7月7日(日)に確認されたものであり、働きアリ約60個体が確認されました。

なお、本県でのヒアリの確認は、2017年6月30日の初確認以降、17例目となります。

1 経緯

7月7日(日)

環境省が実施する全国港湾調査の名古屋港飛島ふ頭での調査において、調査事業者がコンテナヤード上で、ヒアリと疑わしいアリ約60個体が舗装の継ぎ目から出入りしていることを確認。確認場所周辺に殺虫餌（ベイト剤）を設置。

7月8日(月)

環境省が専門家に同定を依頼。

7月9日(火)

環境省から依頼を受けた専門家が、当該アリについてヒアリであることを確認。

2 今回確認されたヒアリについて

確認されたアリは、ヒアリの働きアリ約60個体です。

3 今後の対応

(1) 環境省は、発見場所において目視やトラップによる調査及び防除を引き続き実施することとしており、県と名古屋港管理組合はこれに協力していきます。

- (2) また、愛知県と名古屋港管理組合は以下の対応を行っていきます。
- ・環境省及び飛島村と連携を図り、ヒアリの侵入の水際での防除に万全を期していきます。
 - ・愛知県では、Web ページによりヒアリに係る注意喚起を行うとともに、県民の皆様からの情報を収集します。
 - ・名古屋港管理組合は、名古屋港のコンテナターミナル等の調査を行うとともに、港湾関係者への注意喚起等を行います。

4 県民の皆様へ

今回の事例は、名古屋港飛島ふ頭でヒアリが確認されたのみで、県内広域にヒアリが拡散しているものではありません。また、コンテナターミナル内は一般の方は立ち入ることができません。侵入リスクの高い港湾区域等を除いては、アリの必要以上に恐れることはありません。

- (1) ヒアリ発見時の注意点
- ・ヒアリと疑われるような個体や巣を見つけた際は、刺激（アリの踏もうとしたり、巣を壊したり等）しないでください。ヒアリを刺激すると刺される場合があります。
 - ・ヒアリは強い毒を持つため、生きた個体を素手で触らないでください。
- (2) 刺されたときの対応
- ・まずは安静（20～30 分程度）にし、容体が急激に変化することがあれば、最寄りの病院を受診してください。
 - ・受診の際は、「アリに刺されたこと」「アナフィラキシー（重度のアレルギー反応であること）の可能性があること」を伝えてください。
- (3) ヒアリに関する相談
- ・環境省ヒアリ相談ダイヤル又は県自然環境課に連絡してください。

<環境省ヒアリ相談ダイヤル>

ヒアリやアカカミアリと疑わしいアリの発見した場合や、ヒアリの特徴等一般的な問合せ、健康被害の問合せ等については、「環境省ヒアリ相談ダイヤル」を御利用ください。

- ・受付曜日：土日祝を含む毎日（12/29～1/3は除く）
- ・受付日時：午前9時から午後5時
- ・ヒアリ相談ダイヤル 0570-046-110（IP 電話の場合 06-7634-7300）

また、チャットボット（自動会話プログラム）による情報提供や相談受付等も行っています。以下の URL から、24 時間、365 日御利用いただけます。

「アリーのヒアリ相談チャットボット」

https://www.env.go.jp/nature/intro/2outline/attention/05_contact/index.html

○今回確認されたヒアリ



提供：環境省

【地図】今回ヒアリが発見された場所

